

春光



2010年度中学校・高等学校合同入学式(本校フェスティバルホールにて)



春光会会長
松尾 律子
(旧姓 森野 S35年被服本科卒)

陽ざしをうけて、若葉も一段と輝きを増しさわやかな頃となりました。

卒業生の皆様におかれまして、いかがお過ごしでしょうか。日頃は、春光会に対しまして、ご支援、ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、二〇一〇年度春光会総会・懇親会のご案内をお届けいたします。例年同様「退職教職員の会」の皆様と一緒に懇親会を行います。是非とも多数の同窓生の皆様のご参加をお待ちい



校長挨拶

京都橘中学校・高等学校
校長 稲吉 陽作

新緑のまぶしい今日この頃、同窓生の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。また常日頃より母校への変わらぬご支援、ご援助まことにありがとうございます。

この三月に定年退職を迎えた木内正廣前校長の後を受けて、大役を拝命することとなりました。前校長同様にご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

さて、今年、京都橘は大きく変わります。一つは中学校の開校です。正確には昭和四十九年の募集停止以来三十年ぶりの復活ですが、男女六十一名が入学し元気に毎日を送っています。二つめは施設・設備の改善です。六教室の中学校用の改修、全教室への学内LANの敷設とプロジェクター、スクリーンの設置、トイレの全面改修、第二グラウンドの取得などです。人も建物もたたずまいを変えます。

不況に少子化と私学には厳しい状況が続きますが、たゆみない発展を続ける母校になお一層のご支援をいただきますよう、お願ひ申し上げます。

ご挨拶

たしております。
今年も去る二月二六日、一〇六期卒業生二八八名が春光会に入会されました。若き男女の後輩の皆様のご活躍を楽しみしております。開校から一〇九年、京都橘高等学校の偉業は一世代で止まることなく、人から人へ教育のバトンは託され、成し遂げられて今日の勇姿があります。そして、今年四月、中学校が開校され、その名も京都橘中学校・高等学校となり、現代の社会に新出発されました。私達同窓生は、母校の活躍に心から万感のエールを送りながら、自らもまた、「京都橘」の誇りを胸に堂々と人生を歩みたいのです。卒業生の皆様のご健勝と母校の益々の発展を心からお祈り申し上げます。

松尾 律子

会務報告

自 2008 年 4 月 ~ 至 2009 年 3 月

08年 1月 8日 京都橘高等学校入学式（臨席）

4月 20日 太鼓部定期演奏会（お祝金）

6月 6日 役員会

6月 14日 春光会総会（しょうざん）

7月 12日 役員会

8月 女子バレーボール部・陸上競技部

インターハイ出場（お祝金）

9月 13日 役員会

9月 14日 学園祭出店

11月 1日 秋の散策（明石方面散策）

12月 21・23日 吹奏楽部定期演奏会（お祝金）

12月 31日 男子サッカー部選手権大会出場（お祝金）

09年 1月 10日 役員会

2月 24日 役員会

2月 27日 春光会入会式

2月 28日 京都橘高等学校卒業式（臨席）

3月 20日 春高バレー全国大会出場（お祝金）

2009年度 春光会総会報告



2009年度春光会総会が、6月13日(土)に京都駅前の「メルパルク京都」で開催されました。会員38名、来賓3名の出席でした。

総会では、議題の「会務報告、会計報告、予算案、役員の承認」が報告され、いずれの議案も満場一致で承認されました。

総会終了後、「退職教職員の会」との合同懇親会が行われました。「退職教職員の会」からは、会の名称を「橋翔会」と命名されたことが報告されました。恩師の方々も多数ご出席いただき、ハーモニカの演奏やカラオケでタイムスリップしたような、楽しい時間を過ごすことができました。

【春光会2008年度決算】

自 2008年4月1日 至 2009年3月31日

収 入			
項目	予 算	決 算	増 減
前年度繰越金	5,764,558	5,764,558	0
入 会 金	3,550,000	3,570,000	20,000
預 金 利 息	5,000	5,814	814
寄付金収入	200,000	221,000	21,000
雑 収 入	50,000	31,600	△ 18,400
合 計	9,569,558	9,592,972	23,414

基本財産

収 入		支 出	
前年度繰越金	5,531,567	次年度繰越金	7,544,847
受け取り利息	13,280		
組み入れ金	2,000,000		
合 計	7,544,847	合 計	7,544,847

【春光会2009年度予算】

自 2009年4月1日 至 2010年3月31日

収 入	金 額	備 考	支 出	金 額	備 考
入 会 金	2,900,000	290×10,000	事 業 費	3,000,000	会報印刷、郵送費、記念品、総会費用他
預 金 利 息	5,000		支 部 補 助 費	100,000	1支部／学年・クラス会
寄付金収入	200,000	@1,000×200口	慶弔 費	200,000	クラブ関係お祝い金 他
雑 収 入	50,000	石鹼売上げ等	交 通 費	200,000	役員会等
基本財産より	3,000,000		会 議 費	50,000	
前年度繰越金	5,187,474		事 務 費	100,000	
			寄 付 金	3,000,000	中学校開設記念寄付金
			予 備 費	10,000	
			基 本 財 産 へ組入	0	
			次 年 度 繰 越 金	4,682,474	
合 計	11,342,474		合 計	11,342,474	

2009年度
春光会役員

四村
召照代
房子
(昭35卒)

中学校開設記念

中学校開設記念 寄付贈呈式

会では、中学校開設に対しあ祝金を贈呈することを、昨年度総会で決めました。その贈呈式が一月三十日京都橘高等学校校長室で行われ、松尾会長から木内校長先生に目録が贈呈されました。

木内校長先生からは、日頃の学校に対する春光会の支援活動へのお礼と、



た。 意が述べられまし
育」の力を發揮す
ることで十分情勢
は切り開かれてい
くという力強い決

寄付金のお願いとお礼

三上	宮本	幸子	(昭35卒)
会計監査	芳美	(昭41卒)	
常任委員	出村	美枝子	(昭35卒)
森田	菜畠	雅代	(昭52卒)
岡村	嘉子	(昭17卒)	
奥川	ノブ工	(昭19卒)	
森田	嘉津子	(昭27卒)	
相談役	西村	小松	中山
浅井	裕介	里奈	友美
ハツ工	幡井	村上	(昭63卒)
(昭36卒)	武永	香織	由香
	康宏	信子	(昭64卒)
	(平15卒)	(平10卒)	
	(平15卒)	(平10卒)	

本年度も春光会に對して、多くの会員の方々からご寄付をいただきました。氏名を掲載し、お礼に代えさせていただきます。
引き続き1口千円の寄付を受け付けていますので、同封の振込用紙でお願いします。住所、氏名と通信欄の寄付の欄に「口数、金額」をご記入ください。あわせて、卒業年、科も忘れずにご記入ください。

ご寄付をいただいた方々
(敬称略)

昭和3 19		昭和3 17		昭和3 15		昭和3 12		昭和3 11		昭和3 3	
師	師	本	本	師	本	本	本	師	師	專	師
荒	奥	上	原	岡	村	中	垣	中	田	荒	小
木	川	原	村	岡	内	西	内	中	木	木	川
美代	ノブエ	加寿子	嘉子	幸子	久登里	ゆり子	エミ子	ひさ子	澄枝	よし枝	マサ
昭和35 被	被	被	被	商	被	被	洋	被	二 專	本	本
中小路	中	福	中	三	村	菅	太	芦	森	木	大
弘	井	村	上	瀬	生	田	田	田	村	村	竹
子	貴	育	幸	澄	正	和	文	道	冴	佳	鬼
後藤	宮	荒	川	吉	石	安	近	山	つる	代	界
エミ子	芳美	浩	悦	春	常	紀	良	幹	江	葉子	近藤
平成14 被	普	普	普	普	普	被	被	山口	江	子	昭和35 被
島内	内	内	内	内	内	内	内	口	洋	子	被
博子	典	典	典	典	典	典	典	田	江	枝	被
美保	季	季	季	季	季	季	季	宇治	子	美枝	被
幾代子	美	美	美	美	美	美	美	高岡	洋	典	被
浩子	昌	昌	昌	昌	昌	昌	昌	齊藤	子	美枝	被
浩子	和	和	和	和	和	和	和	田	江	子	被
浩子	洋	洋	洋	洋	洋	洋	洋	知	子	子	被



丹波路八



バスから見える山々の木々も美しく紅葉し、亀岡を越えた当たりから、目を見張るような景色が窓一杯に広がつていきました。

篠山は、城下町として発展した街です。篠山城は、徳川家康が築城して今で四〇〇年を迎えます。火災で焼失した大書院が復元され、所蔵されている屏風や調度品、どの大名が献上したか分かるように名前が刻印された石垣など、見どころ満載の篠山城址を見学しました。

昼食は待ちに待つた「丹波牛の焼き肉」を、貸切の食堂で久しぶりに会つた友人達と楽しい会話とともに、おいしくいただきました。お腹一杯になり皆さん充分満足されたよう思います。

午後からは篠山散策をしました。ボランティアの方の案内で、街の歴史も楽しく聞きながらぞろぞろと・・・。街はきれいに整備されて、保存地区に指定されています。篠山城の堀の西側に

た。武家屋敷などを見学しました。またおみやげ物屋さんで丹波の名産である黒豆や、山芋等の品々を買い求めたりで、参加者の皆さんはゆっくりとした気持ちになられたことでしょう。本当に楽しい一日を過ごすことができまし

今年もまた楽しい企画を考えていま
すので、会員の皆様の多くのご参加を
お待ちしております。
(萱沼記)



中学校開設

二〇一〇年四月、京都橘中学校が開設されました。

二〇〇九年四月、京都府知事に中学校設置認可申請書を提出し、七月の私学審議会での検討の結果「概ね適当」と判断されました。それを受けた形で、十月二〇日に京都府知事から中学校の設置が認められました。

しかし、七月末に予定されていた初めての学校説明会はインフルエンザ騒動で緊急中止。最初の取組が、九月二七日の金田一秀穂先生を招いての中学校講演会となり、広報活動は遅い出足となってしまいました。

その後、同窓会や父母の会の方々の協力もあり、「京都橘中学校」開設のニュースはだんだんと広まっていき、その後の取組には多くの小学生や保護者の方々に参加していただきました。

進路状況

応募者は前年比マイナス二〇%という大きく落ち込み、ほとんどの学校で前年度を下回る結果となりました。その中で、新設校として参入した本校は、応募者二〇一名、入学者数六一名（男子三名、女子二八名）と募集定員六〇名を上回る生徒が集まりました。開設二年目となる二〇一一年度入試はかなり厳しい状況が予想されます。同窓会の方々のご協力をよろしくお願ひいたします。

短期大学 三三名

専門学校 二七名

就職 二名

産近龍佛
京都橘 一六九名
明治・青山学院・中央、その他

高校入試状況

二〇一〇年度入試は、不況の影響や公立高校授業料無償化で、昨年に続き厳しい結果となりました。志願者は一七六八名と昨年より増加し、京都私学で三番目の多さでしたが、専願者が減っています。

二〇一〇年度から、従来の四五分授業から五〇分授業へ授業時間の延長、多目的教室の自習室化などの変更で、ソフト・ハード両面の強化で実績向上をめざしています。

少し二七一名という共学以降最も少ない入学者数となりました。

[2010年度 入学試験結果]

コース クラス	募集定員	志願者	受験者	合格者	入学者
A	160名	697名	691名	674名	168名
B	120名	551名	546名	475名	75名
S	30名	520名	519名	212名	28名
合計	310名	1,768名	1,756名	1,361名	271名

*回し合格含む

私立大学 五〇三名
関関同立

国公立大学 十名
横浜国立・信州・京都教育・奈良女子・岡山他 その他



中学校・高等学校合同入学式

四月七日（水）、二〇一〇年度入学式が行われました。中学生六一名、高校生二七一名、計三三二名の新入生が新たに「橘生」となりました。校内の桜の花もこの日まで散るのを待つて、いたかのように、初々しい新入生、保護者の皆さんを桜の絨毯で迎えてくれました。

新しい制服を着たかわいい中学生、ちょっと大きめな制服を着た高校生は、担任から一人一人名前を呼ばれ、校長の入学許可宣言を受けました。来賓の梅本裕京都橘学園理事長の祝辞の後、新入生を代表して中学は田中佑奈さん、高校は濱野由美子さんから誓いの言葉が述べられ、それに応えて、在校生代表中村紹乃生徒会長から歓迎の言葉が贈られました。吹奏楽部の歓迎演奏で式は終了しましたが、その後、新しいクラスで担任とクラスメートとの対面を行い、学校生活の第一歩を歩み

始めました。四月八日には、中学生と高校生の対面式が行われ、オリエンテーション、健康診断、ガイダンス授業等を経て、十日から一学期の授業が開始されています。



学園祭

二〇〇九年度の学園祭は、「ぼくらをつなぐ地球の根っこ」をテーマに、オープニング、合唱コンクール（一年）、演劇コンクール（二年）、文化祭（全体）と四日間にわたって行われました。時期柄、インフルエンザの流行も危惧されましたが、天候にも恵まれ、外部からの参加者も一、八〇〇名を超えるなど活気ある学園祭となりました。

「春光会」も、例年どおり、最終日の文化祭に企画参加し、廃食油で

九月一六日木 合唱コンクール
九月一七日金 演劇コンクール
九月一八日土 橘 祭

九月一六日木 合唱コンクール
九月一七日金 演劇コンクール
九月一八日土 橘 祭

作る環境に優しい石鹼づくりの実演と、石鹼をはじめとする小物販売、卒業生（昭和三五年卒）の数点の「押花額」の作品展を行いました。なお、石鹼作りをしてみたい方は、学校（春光会係）までご連絡ください。じ指導します。

今回も「橘幸会陶芸教室」の展示と同じ教室で行い、多くの入場者でにぎわいました。二〇一〇年度の学園祭に日程は次のとおりです。卒業生の皆様の参加を期待しています。



おじやまします 広報です

シリーズ⑯

す発展の我が母校。今回の「おじやまします広報です」は、そんな橘を支えてこられ、「一時期春光会の役員もしていただいた大先輩方にお話を伺いました。

九十歳を迎えて、なお

岡本富美子
中西秀子

(旧姓平林 S 11 師範科卒)
(旧姓神田 S 12 師範科卒)

さんを訪ねて

明治二五年(一九〇二年)に創設された京都橘の前身「京都女子手芸学校」。本年度から中学校が再び開講されます。

岡本富美子さんは学校を卒業され、その後ご結婚。しかし、戦争が始まりご主人が戦地に行かれ、韓国の鉄道事故で亡くなられるという悲しい出来事がありました。「生まれてくる子供の顔も見せることができなかつたことが一番辛く悔しく心残り」とおっしゃいます。一年後再婚されました。が、最初は慣れず一緒に食事もできない状態だったそうですが、その方も良い方で今思えば感謝しています

とのことでした。

現在の子供の教育について聞きますと、「つくづく思いますが私は私たちの頃とは違う。幼い頃からの子供の躾は親の責任。親がしっかり躾をし、それ

をもとに世の中が良くならないといけない。今は学校が悪い、

を迎える岡本富美子さん、中西秀子さん。とても若々しくゆったりとしたお話しぶりは、品の良さを感じます。

岡本富美子さんは学校を卒業され、その後ご結婚。しかし、戦争が始まりご主人が戦地に行かれ、韓国の鉄道事故で亡くなられるという悲しい出来事がありました。「生まれてくる子供の顔も見せることができなかつたことが一番辛く悔しく心残り」とおっしゃいます。一年後再婚されました。が、最初は慣れず一緒に食事もできない状態だったそうですが、その方も良い方で今思えば感謝しています

とのことでした。

現在の子供の教育について聞きますと、「つくづく思いますが私は私たちの頃とは違う。幼い頃からの子供の躾は親の責任。親がしっかり躾をし、それ

をもとに世の中が良くならないといけない。今は学校が悪い、

違いであり親の躾が基本である」とおっしゃいました。「現在は世の中がすさんでいる。自立する女性もいが、家庭で温かいご飯を出しあげることも大事である。子供や夫に心寂しくさせるのは考え方である。」言葉のひとつひとつに重みがあり本当にそうだなあと考えさせられました。「しかし今の時代、子供も大事であるが、我々の老後の自立、生活も心配である。」とも言われました。一言一言がすべて心に響きます。特に心に残ったのは「勉強はしておくものですね。」の言葉。

何歳になつても勉強を忘れず、前を見つめて進んでいく心意気。私もこのように素敵に年を重ねた女性になりたいと思いました。



当時の寮の一コマ



春光会役員時、学園祭にて
(左より 中西さん 故世古さん、岡本さん)

されましたが、最初は慣れず一緒に食事もできない状態だったそうですが、その方も良い方で今思えば感謝しています

とのことでした。

中西秀子さんは美山町で生まれ、現在は大阪東淀川にお住まい。「押し絵」や毎日大学ノートに覚え書きという日記のようなものを続けておられ、充実した日々を過ごしておられます。昭和十二年に学校を卒業され、ご結婚。その後戦争があつていろいろご苦労もされたけれど、穏やかなお顔でいろいろお話を伺いました。

世界大戦もはじまりました。大変な時代であったことだと思います。学校の楽しがつた想い出話をまるで女学生にもどられた感じで次から次に話してくださいました。子供の頃の想い出は、「父親は大変厳しい人でしたが、母親は優しく私はいつも家事などを手伝っていました。幼い弟を背中に背負いながら、本などを読んでいたこともありましたよ。」当時の学校の先生から師範学校の受験を強く勧められましたが、

中西さんは橘へ進学されました。卒業後は、美山町で教職に就かれ、ずいぶんとご

活躍されたそうです。

人生の中で学生生活は一瞬かもしだれませんが、その時期は青春の真っただ中。素晴らしい時期でもあります。その時代の友人は一生長くお付き合いできる貴重な友人であります。「代の間にはいろいろあって、それを乗り越えてきました。そうして幸せな今があります。」

現在の京都橘高等学校があるのも、このようなすばらしい先輩方がおられたからこそだと思います。

岡本さん、中西さん、いつまでもお元気でいてください。そして私たち後輩を叱咤激励してください。ありがとうございます」と記しました。

(石村記)



春光会では、学年、コース、クラブ単位等の同窓会開催、企画を援助するための補助制度を設けています。開催を計画している会員は事務局までご一報ください。補助金は以下の内容です。

〔案内送付対象者数〕が

20～50人	···	5,000円
51～100人	···	10,000円
以上	50人を超える毎に	5,000円アップします。

対象

学年・コース・クラス・クラブ単位他
* 補助を受けた場合、その対象者の名簿と会報等で紹介したい場合、報告書、写真等の提出が必要となります。



クラブトピックス

2009年度の主なクラブの全国大会での戦績

女子バレーボール部

◆インターハイ(8月奈良)

ベスト8

(10年連続12回目出場)

◆国体(10月新潟)

2回戦敗退(単独チーム)

◆春の高校バレー(3月 東京)

2回戦敗退

(13年連続14回目出場)



陸上競技部

◆インターハイ全国大会

(8月奈良)

女子100m 第6位(木村茜)

女子4×100mリレー 第8位

◆国体(10月新潟)

少年女子B100m 優勝

(木村茜)



吹奏楽部

◆全日本マーチングコンテスト

(11月 大阪)

金賞(3年連続12回目出場)

太鼓部

◆全国高校総合文化祭

(7月 三重)

インフルエンザで出場辞退



お店探訪

シリーズ⑤

今回は、昭和41年卒業の関東美代子（旧姓西村）さんのお店を訪問しました。奈良県櫻井市。静かで、街から離れた大規模な住宅地。大きな屋敷が多く、騒音は搔き消され、一瞬田園にいるような感覚になりました。

お店の名前は、"キルトハウスアンドカフェ"といい、五年前に開店。趣味のパッチワークをいかして、キルトで作った作品を店内に飾り、その中でおいしいコーヒー、ケーキをいただけるというホットするお店です。作品も季節に応じた作品が展示されています。三月に訪問したときには、可愛い数々

店で使用しているコーヒー碗皿は、京都橘高校の同級生で日展にも出品されている陶芸家の作品だそうです。ケーキは息子さんが作っておられ、とてもおいしくお店の雰囲気、コーヒー、ケーキの味、ともに心暖まるお店でした。

ご本人からは、やはり"京都橘"を卒業したおかげです。との言葉をいたしました。

皆さんも一度訪ねてみてください。



【「キルトハウスアンドカフェ」の
住所・電話番号】

奈良県櫻井市大福中津道三九〇番二三
TEL/FAX 0774(43)0070

のおひな様が私達を迎えてくれました。訪問時には、丁度入学式のお祝いに額に入れる作品を制作中。桜一面の着物を着た可愛いミツキーマウスの人形を見せてもらいました。

作品の材料は、リサイクル（着物・洋服）の布を利用されるそうです。気軽に作れるため、口コミで主婦のファンが増え、教室も四ヶ所で約六十人の方に教えておられます。

お店は、月曜日から金曜日まで主婦で一杯になるそうです。

卒業生の皆様へ

2010年度 春光会総会・懇親会のご案内

本年度総会・懇親会を下記のとおり開催いたします。同窓生お誘い合わせの上、懐かしいひとときをお過ごしくださいますようご案内申し上げます。

なお、今年度の懇親会も、昨年同様「退職教職員の会」と合同で開催いたします。退職・現役の参加教職員は以下の皆様です。（10.4.7現在）

記

- 日 時 2010年6月12日(土) 午前11時(受付は10時30分より)~
- 場 所 しょうざん 京都市北区衣笠鏡石町47 TEL(075) 491-5101
- 内 容 会務・会計報告・予算案・親睦会
- 会 費 7,000円 (学生・未成年者は3,500円)

◆退職教職員（五十音順）（10.4.7現在）

安養寺 弘子 太田 和子(秋田) 小笛 喜代子 木内 正廣 北出 肇 小林 登代(藤見) 佐野 賢造
杉浦 恵子 筒井 節子(伊藤) 筒井 雅之 出村 美枝子 中村 育子(矢田) 兵頭 紀伊子(和田) 平松 久司
松本 須美子(貴志) 三上 幸子(西出) 森田 道子 山口 幹子 山崎 淳子 山田 恭之

◆現役教職員

校長 稲吉 陽作 副校長 山崎 哲夫 事務長 栗原 正次

◎送迎バスもご利用ください。

烏丸北大路下ル大谷大学通用門前 午前10時30分

■ご出席のお返事は振込用紙で会費の納入をしていただきたく存じます。準備の都合上、5月28日(金)迄にお願い致します。